

2010.NOV

## 釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第24号です。

Gear-Lab製品をご利用ありがとうございます。

絶好の釣りシーズンになりました。皆さん楽しんでらっしゃいますかぁ～。

私は10月にシンガポールとマレーシアに行って参りました。もちろん釣具探しの仕事です。シンガポールのある街並みにありました、ありました釣具街が！釣具店がずっと並んでいる不思議な町なんです。

入ってみるとどの店も全く違う様相なのでこちらは飽くこともなく、次から次からドアツードアで回れます。ちょっと表現がヘタかもしれませんが秋葉原の電気街のようで一軒一軒味があるのです。商品だけの味ではなくて店主の味

の違いが面白いと思いました。

熱心な……というより単に釣り好きな店主がいたり、日本人の私に日本の釣具を一生懸命勧めたり、遠慮がちな漁具店の店主、でも色合いが皆違うのがとても嬉しかったです。

それもこれも楽しめたのは、日本人でありながら現地人のような様相とこの土地に本当に詳しいバラクーダさんのお陰です。私一人ではこの街に潜り込むこともできなかったでしょう。彼のこの土地は30年にもなるのですから、知ってるはずですが、マレーシア語をたくみに操る怪しい人です(～\_~;) )



## 旅暮らし四方山話。(その13)

というわけで今回はシンガポールとマレーシアの一週間のプチ放浪記です。

いえいえこの旅は私の人生に大きな影響を与えてくれました。「こんなものありなんだ。」とこの旅はいろいろ私に教えてくれました。そのカルチャーショックが激しかっただけに私は日本に帰ってから数日使いものにならない自分を感じてました。これが一年いたらもう社会復帰は難しいでしょうね。

今回の旅は、一般観光客としての旅ではなく、明らかにバックパッカー的な旅でした。観光地は一切行っていませんし、現地の一般庶民が泊まるホテルと食事をしてきました。とはいえ毎日ガブガブとビールを飲む私は、どう見ても庶民ではありませんという、バラクーダさんのご意見です。(～\_~;) )

シンガポールは世界中から支店が置かれる大貿易国です。香港の自由貿易港より歴史あるマラッカを近くにするシンガポールの方が活気があるように思えました。

上記の釣具店街が一番の目的だったのですが、ありましたありました。興味ある釣具が！近くにベトナム、タイ、マレーシア、インドネシアを臨み中国製品も活発に入ってきています。正直言ってここまで期待していませんでした。しかし東南アジアの技術力はある部分で軒並みアップしているのは間違いありません。もちろん私のように中国製造で鍛えられた人も多いと思いますが……。 (～\_~;) )

さて初日のシンガポールの夜は、キングビールと東南アジアらしい料理で迎えていただきました。 旨い！旨い！



これも旨い！と言いながら幸せ一杯のディナーをいただきました。といっても露店に近い庶民が食べる安い店なんです。そのあと調子にのってバラクーダさんをオープンエアのバーラウンジへ誘ってスコッチをロックで数杯いただき快適なシンガポールが始まったのです。

しかし、ホテルが安かった。ひどかった。中級ホテルは漢字で「飯店」や「大飯店」と書いてあります。安いホテルは「旅社」や「旅店」と書いてあります。

私が泊まったのは「飯店」でも安い方でして、シーツなんか洗って (右上につづく)

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱心な人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



ないし、床も長い髪の毛がたくさんで足にまわりつくともない汚い部屋です。そして窓が一つもありません。冷房だけは親の仇のように気合いの入った効きようで寒くて寝れないほどです。寒いので洗濯してない脂ぎったシーツを仕方なくかぶって眠りに落ちようと努力します。

天井には裸電球が一つだけでその横には、「KIBLAT」と文字が矢印に書かれています。



イスラム教徒の一番大切な聖地の方向を印しているんですね。一週間どのホテルや小屋にもこの矢印がありました。しかし、ビックリしたのはどこの土地に行っても朝5時過ぎに大音量のスピーカーでコーランのお祈りが始まるのです。わたし昨夜の酒で夢ごちなのにな……。一日に5回もこのお祈りをすると異文化とはいえ嬉しくもありました。しかし、あの祈りの声はなかなかイイもんです。いつも長老らしい男性の声なのですが、このままどこか遠くにトランスしてもいいような気分になったのは私だけでしょうか。録音できたけど、あえて録音しませんでした。やはりこの土地に来て聞かねばならない神聖な歌声だったのです。

シンガポールの朝はこうして始まり、バラクーダさんと一緒に朝から露店での朝食です。食事はやっぱり旨いのでまたまた元気になりました。飲み物は日本人にはチャイニーズティーあたりが無難のようです。さて、マレーシアに渡ります。ジョホール水道を超えてジョホール・バルに渡りますが、この海峡はこの道で海水が（右上につづく）

## シンプルなサンドロッドスタンド

シンガポールでは4つの面白い釣具を見つけて参りました。その第一弾はシンプルなサンドロッドスタンドです。デザインはシンプルだけど仕上がりが綺麗です。砂浜に刺してロッドを並べるとサマになるでしょうね。日本にも、ありそうでなかったサンドロッドスタンドです。お楽しみに！！

## 御影クランプにクーラー用ホルダーを

御影クランプという小物を掴みやすいものがGear-Labにあります。これはメゴチバサミの高機能なものです。

これをクーラーの横にホルスターとして取り付けられないか検討中です。メゴチバサミは使わないときは意外に邪魔なんですね。でもこれがクーラーの横にセットされてあれば技有りと思いませんか？

こんな小さな釣具にあーでもないこーでもないと言いながら一日が過ぎていく私の人生。

でもお一人でも喜んでいただける人がいれば御の字です。



完全封鎖されていて汚れていました。橋脚で道を上げてしまえば大きな海流が流れて綺麗になるでしょうに、なんという傲慢な道を作っているんだと一人でブツブツ言いながらバスを降りて出国して入国審査。再び別のバスに乗り込むのですが、こりゃ～やり方が分かりません。マレーシアは英語も殆ど通じません。大きなバスセンターで安くても時間の合うバスを探します。メルシンまでバスで三時間なのですが、このバスの運転手がスゴイ！時速120kmくらい飛ばしながら、大声で客と話し続けてます。携帯電話も大声で一番後ろの席に聞こえるくらいのハイな声です。でも、降りて荷物をバスの横から降ろすときに「オマエマッチョだ。オマエ身体鍛えてるな。とてもいい。」と言ういいおじちゃんでした。さてさて次回はメルシンとティオマン島の話です。

## 株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092 - 663 - 5196

Fax 092 - 663 - 5102

Mail NQE50210@nifty.com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

## Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(～)～)

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com

携帯 090-8406-9591



お気楽DETCHEこと福山でした